

琉球の方言 1巻 : 八重山石垣島川平方言

法政大学沖縄文化研究所

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

琉球の方言

(巻 / Volume)

1

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

102

(発行年 / Year)

1975-09-30

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00012852>

2. 川平方言の自然談話

甲・南風野英三氏(79歳)

乙・前浜 永光氏(52歳)

話題 年中行事のうち, *sima Fusaraja:*
(島フサラシャー・魔除願)という
行事について, それが沖繩のアブシ
パレーという行事と類似している
ということなどについて話し合っている。

甲

Fukĩna:nu abusĩpaŕe: gjo:dʒinu
沖繩の アブシパレー 行事が
andjo:ra. ure: daitai kabiranu
あるでしょう。それは 大体 川平の
dʒuggatsĩ matsurĩni ni:fan djo:ra.
十月 祭 に 似ていますよ。
ure:daitai kabiranujo:ra.
それは 大体 川平のですね。
dʒu:gwatsunu matsurĩ djo:ra.
十月の 祭り ですね。
dʒuggwatsĩ djo:rasa unu
十月 です。その
gjo:dʒidʒitaijajo:, unu gjo:dʒidʒi
行事自体はね, その 行事自体
tainu imija kabiranu dʒuggwatsĩ
の意味は 川平の 十月
matsirĩni:du nariki: Fusugganu,
祭りのように なってきて いるが,
jaijama na:ja mukasĩ abusĩparaidi:
八重山 には 昔 アブシパライ
an gjo:dʒija aro:ranta.
という 行事は なかったですか。
abusĩparaidi:ja mukasĩ arottaju:
アブシパライという行事は 昔 あったかも

wakaransugga, paŕĩ ma:rĩdi: an
知れないが, 畑 まわりという
muno:me: mainennu gjo:dʒi mitaini
ものは 毎年の 行事 みたいに
arotta jo:sĩ jasugganu.
あった 様子 ですが。

乙

asĩtara sakuho:di:an munudu
そうしたら 畑勝負という もので
aro:rĩ.
あったのですか。

甲

sakuho: towa betsu.
畑勝負 とは 別。

乙

abusĩparaidi an munuju
アブシパライという ものを
jumi mi:riba, tjo:du ja:he:jo:.
読んでみると, ちょうど 家にですね。
jana:diridu:, piĩtsĩnu matsĩ
家に居てですね, 一つの まず
hainujeidʒo:sannu kĩne: tuĩiti
南風野英三さんの 家庭 として
dara:me:, akumadu paŕo:di jo:ra:me:
ですね, 悪魔を 払おうと ですね,
una: kĩne: kĩne:nu akumaju
各々の 家庭 の 悪魔を
paŕaiĩtidu, kundo: muranu,
払ってからね, 今度は 村の,
kabiramuranu akumaju paŕaiĩtidu,
川平村の 悪魔を 払ってから,
ure:hara uifikidu:, kundo:ki: du:nu
それから 追いかえてから, 今度は来て 自分が

uisuki, du:nu s'ikama, s'ikamanu
追って、自分の 耕地、 耕地の
akumaju paḡai, tʃibina:ja
悪魔を 払って、 最後には
abusipaḡai si:du owari josusa:.
アブシパライ して 終る ようすです。

乙

jaja asitara: jaijamanu …….
やや そうしたら 八重山の……。

甲

asitara: jaja siima Fusarafa:tu
そうしたら やや 島 フサラシャーと
junumunu.

同じもの。

乙

o: aikidu:, Fukiḡa: na:ja,
はい それだから、 沖繩 では、
Fukiḡa:nu gjo:dgi nu honju jumi
沖繩の 行事の 本を 読ん
mi:ri ba:du:, Fukiḡa: na:ja,
でみたら、 沖繩 には、
abusipaḡaidi: an gjo:dgi aro:sugganu,
アブシパライという 行事が あるようだけど、
jaijamana:ja, tada me:, una ja: ja:
八重山には、 ただもう、 各々の 家
me:, akuma paḡai so:ri:sjiti,
をもう、 悪魔 払いを 済んで、
janamunu paḡajo:rijiti, tʃibe:me:,
悪もの(魔物)は払い清めて、 最後には、
kundo: me: kamba a:jo:rijiti me:,
今度は もう 剣を 合わせて もう、
paḡa na:di:ri:me: siḡaFusarafa: ba
浜辺では 島フサラシャーを
jo:rijiti o:ri so:ra:me:,
済ませて いらっしゃるのですよ もう。

urina taijiti, piḡtitsinu
これに 対して、 一つの
kabiraburakutuḡiti, asidu:,
川平部落として、 それで、
abusipaḡaidi an kutu, piḡtitsi
アブシパライということ、 一つ
mukaḡi kabiraburakutuḡiti,
昔 川平部落として、
arorantadi an kutu. dʒuḡgatsi
ありませんでしたでしょうか。 十月
matsiri:ni daitai ni:fa:ri.

祭に 大体 似ている。

甲

abusipaḡaidi an muno: me:da
アブシパライというのは まだ
sikimi:munu si:du Fusugganu,
聞いたことが ないのであるが、
wa: aninu munu sikitaru:
君の 言うことを 聞いたたら、
mattaku pa: dʒuḡgatsi matsiri
まったく われわれの 十月 祭
nidu ni:fa:ru.
に 似ている。

乙

o: pa: siḡmanu dʒuḡgatsi matsiri
はい われわれの部落の 十月 祭
nidu omomuki ni:fa:du attjo.
に 趣きは 似て いるよ。

甲

pa:ja dʒuḡgatsi matsiri didu
われわれは 十月 祭 と
an sugganu, siḡmapusara:fa: didu
言うのだが、 島フサラシャー と
an so:ra. Fukiḡa: na:n duma: na:n
言うでしょう。 沖繩 にも どこ にも

sīmafusarafa: ja ari: do:riru.

島フサラシャー は あります。

乙

o: o: ari:du: ukko:sari.

はいはい あるらしい。

甲

tsiṅaba naifiti, bugadzinaju

綱を ない, しめ縄を

pai, Futjaraba sai, pin ma:suju

張り フチャラ(幟)をさげ, 蒜 塩を

saiṅfiti, Futjaranu saḳi na:ja

さげて, フチャラの 先 には

nikunumunnu tsisi jo:, unu

肉のものの 血 ね, その

tsisi:ju mamifiti.

血を 染めて。

kuṅe: mainu gakuḳa keḳku:janu

これは 前の 学者や 研究者等

me: nu o:ri, affiru paḳaḳi

が おいでになり, そのように 話

jo:ri Futadi jo:. aiki jappaḳi

して おられましたよ。それで やっぱし

sīmafusarafa:di an munu:, duma:

島フサラシャーというものは, どこ

na:n arumunu junra didu

にも あるものだ と

umui sugganu, wa:me:ma aniru

思っているが, 君たちが 言っている

abusipaḳe:di aninu munu:, urito:

アブシパレーと 言う ものは, これと

citteki sitajo:na munu suḳa,

匹敵 したような<共通語>ものであるが,

tukuruni jutte: uridu abusipaḳai,

ところによつては これが アブシパライ

pa: ja sīmafusarafa: anifusuḳa,

われわれは 島フサラサーと 言っているが,

kaḳa: abusipaḳai didu anifusuḳa,

むこうは アブシパライ と 言っているが,

na:ndu tsiḳai, uru aranuga:ja:

名こそ 違え, それ ではないかなあ。

乙

ai hon jumi miribadujo:, unu sumutsi

いいえ 本 読んで 見るとよ。 その 書物

jumi miribadujo:. itḳijo: kodḳinnu

読んで みるとよ。 一往 個人の(共通語)

una ja: ja: nu kiḳe: akumabarai

各々の 家 の 家庭を 悪魔払いを

ḳi:, unutsuge: muraFutsinu

して, その次は 村内の

akumabarai ḳi:, kundo: mata

悪魔払いをして, 今度は また

sikama, du:nu ta:patagi,

耕地, 自分の 田畑,

akumabaraiju ḳi:fiti, uwaru

悪魔払いを して, 終わる

pinna:me:, urijidu parai

日には, それで 払い

utatudijo:,

終わるらしいよ。

甲

asaban pa:araban sīmafusarafa: nu

それでも われわれは 島フサラシャー の

pinna jappaḳi ja:nu munna: ja,

日は やっぱり 家の 門には,

ino:sa:ni ja:dzarai

浜 でヤーザライ<家を払い清めることを>

siso:ra.

するでしょう。

ja:dzaraija du:nu k̄iŋe:nu
ヤーザライ は 自分の 家庭の
akumabarai jaso:ra. as̄itidu:
悪魔払いを するでしょう。それで
t̄fo:du sannitsikanna:me: p̄isaja
ちょうど 三日間も 君たちは
ji:mi:da.

してみたか。

乙

a:i ji:munudijo.

いいえ やってみたことはないよ。

甲

sannitsikanna:me: Fa:namanume:ja,

三日間も 子供たちは

kuŋu Fa:namanume:ja jo:to:pa:re:

この 子供たちは 風邪気払いを

ji:, jo:to:pa:re: aŋgaripa:re: ji:,

風邪気払い 走って払いをして、

ki:jini katanaba s̄ikuri fitidu,

木 で 刀を 作ったりして、

s̄iŋanu kuŋu uidore: s̄iŋanu

島の この 上などに 島の

pukajo: . una:du ki: jagui ji,

外よ。 そこに 来て 囃声を入れて、

so: so: ji parai,

ヒョーヒョー(大声の形容)して 払い、

tatagi, buran taikun tatagi,

叩き、 法螺貝も 太鼓も 叩き、

duran mut̄jidu araki juŋkara,

銅鑼も 持って 歩くのであるから、

na:dadz̄i do:re: na:ŋ ki s̄i:,

ナーダズ(地名)等 に 来てやり、

nijimura do:re: na:n ki s̄i:,

ニシムラ(地名)等 に 来てやり、

Fus̄iko:s̄i do:re: na:ŋ ki

フスコシ(地名・牛越)等 に 来て

s̄i, tada:i ki: ji:, kuŋu

やり、 どんどん 来て やって、 この

s̄iŋanu pati na:n, muranu pati

島の 果て に、 村の 最

pati na:n ji: . ki: unu jo:ja

果て に来てやる。それで その 晩は

mu:ru owattara ki: juFukui,

皆 終わったら 来て 休み、

na:tsanu jo:n aji.

翌日の 晩も 同じ。

乙

nuFukujo:re:ru bun...

残した分は…。

甲

junu munu ba ji: . kundo:

同じ ことを やり。 今度は

uinu mura hara ji: ki'tara: , ato:

上の 村 から して 来ると、 あとは

s̄iŋunu murahara ji: k̄i: . aiki:

下の 村から して 来る。 それだから

jagin hatsima:sso:, kuŋu

必ず 集まるのは、 この

nakamits̄idu jahatadjor. aiki:

中道 であつたよ。 それだから

ji: fitidu sannit̄jime: ja ippan

やってから 三日 には 大勢の方が

o:ridu, katana: a:ji,

いらっしやって、 刀を 合わせ、

uFunna: diri, katanaba,

ウフンナー(地名)というところで、 刀を、

kubaganu katana: bits̄i ,

久場川の 刀は 別、

futsibare:nu katana: bitsi
内原(下の村)の 刀は 別
ji:fitidume:, a:ji fiti, buri: muno:
に して, 合わせて, 折れるものは
tada:ni inahе:fiti, aiti:me:
どんだん 海に すてて, そうして
saigo ja me: nukuru dugundu
最後 は もう 残る ところが
katjiha:me:.
勝ちであるよ。

ji:fitidu unhara: jugutu ji:
そうして それから 話を し
diri, unu jo:ja me:, dšikammade:
て, その晩は もう, 時間までは
ji:fitime:, kaita sugganu,
して, 帰った が,
urimadi na:jame:, ke:rane:ranu
それまでには, 皆
surui, šiṃan tyṛasutari, no:n
集まり, 相撲も とらしたり, 何でも
sitarī ji:, mu:ru kitara:,
やらしたりして, 皆 来たら,
unhara, katanaba a:ji fiti,
それから, 刀を 合わせて,
kundo:me:, unu makikatana:, unu
今度は, その 負け刀は, その
bu:ri katana:me: tada:i inahе:…。
折れた 刀は もう すぐに 海に…。

乙

urifidumer maki katji wakaro:ru
それで 負け 勝ちが わかるわけ
waki. futsipare:ja katsifita,
ですか。内原(地名)は 勝った。
kubaga:ja makifita, tfo:du urito:
久場川 は 負けた, ちょうど それと

junumunu, sannitsi kanna: fi:du
同じ, 三日間は して
are:riki:, abusipare:n tfo:du
あるから, アブシパレーも ちょうど
junumunu are:riki:。
同じでは ないですか。

甲

jaro:runju: wakaran ra,
であるかも 知れないよ。

乙

daitai hon jumimiriba, kabiranu
だいたい 本 読んでみれば, 川平の
šiṃaFusarafa: ni:ja.
島フサラシャーに 似ている。

甲

daitai aidu jaru batsi do:
大体 そうである はずですよ。

乙

daitai aidu seidšinu tyṛi kata…
大体 そう 政治の とり 方…。

甲

a:fi, junumundu jaroreru batsi
そうだ, 同じもの である はず
do:。
よ。